NEXT-GEN B to B FIRE SAFETY

事業継続を支える初期消火ソリューション

Fire Fighting Sticker®

次世代の自動初期消火ソリューション：貼るだけで守る未来

株式会社 SAIKYO / Global Safety Initiative

見えない火災リスクとビジネスへのインパクト

ビジネスにおける「火災」は事業停止を意味します

40,783件

（電気火災 3,240件）

国内の年間火災件数（消防庁2025資料）
ビジネスにおける「火災」は操業停止を意味します。特にコンセント、分電盤やブレーカーからの出火は発見が遅れ、サーバーダウンや工場ラインの停止に直結します。

B to Bにおける「火災の死角」

ITインフラ

サーバーラック内　消火器の使用は精密機器の全損を招きデータの復旧コストが膨大に

製造ライン・物流倉庫

分電盤・老朽化した設備や過負荷運用による発火。操業停止による機会損失が発生

管理ビル・店舗

コンセント周り・什器の裏など、人の目が届かない場所での微小な火種が深夜に拡大

炭化導電路（トラッキング現象）の恐怖と対策

いつの間にかコンセントの隙間に潜む出火リスクのメカニズムと、瞬時消火による備え

01

ホコリと湿気の蓄積

コンセントとプラグの隙間にホコリが溜まり、結露や湿気を吸着します。

02

微小な火花（トラック）

湿ったホコリの間で放電が起き、絶縁状態が崩れて電気が流れる道が作られます。

03

突然の発火・火災

ある日突然発火し、建物全体を巻き込む重大な火災へと発展します。

【解決策】貼るだけで自動初期消火（Fire Fighting Sticker）

- コンセントやプラグに被せる・貼り付けるだけで、わずか5秒で設置完了。
- 万が一トラッキング火災が発生しても、消火カプセルが瞬時に炎を消し止め、被害とコストを最小限に抑えます（有効期限6年・メンテナンス不要）。



解決策：貼るだけの消火 Fire Fighting Sticker

高機能マイクロカプセル技術を応用した革新的な消火シート

発火を検知した瞬間に、自動で消火剤を放出。人的ミスや電源の有無に左右されない、究極の「自律型」ソリューションです。



工事不要

大掛かりな配管工事やシステム設置が不要で、すぐに導入可能

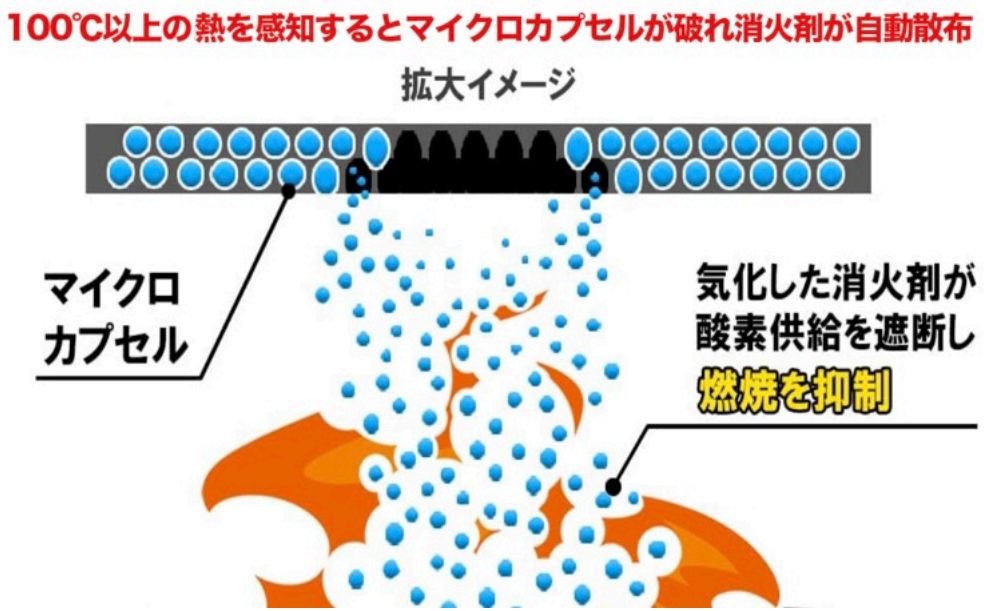
点検不要

可動部や電気系統がなく、専門業者による定期点検が不要

電源不要

完全パッシブ動作のため、停電時や無人環境でも確実に対処

消火メカニズム：100℃の熱を感知し、消火液が気化し200倍に酸素と結合し瞬時に消火



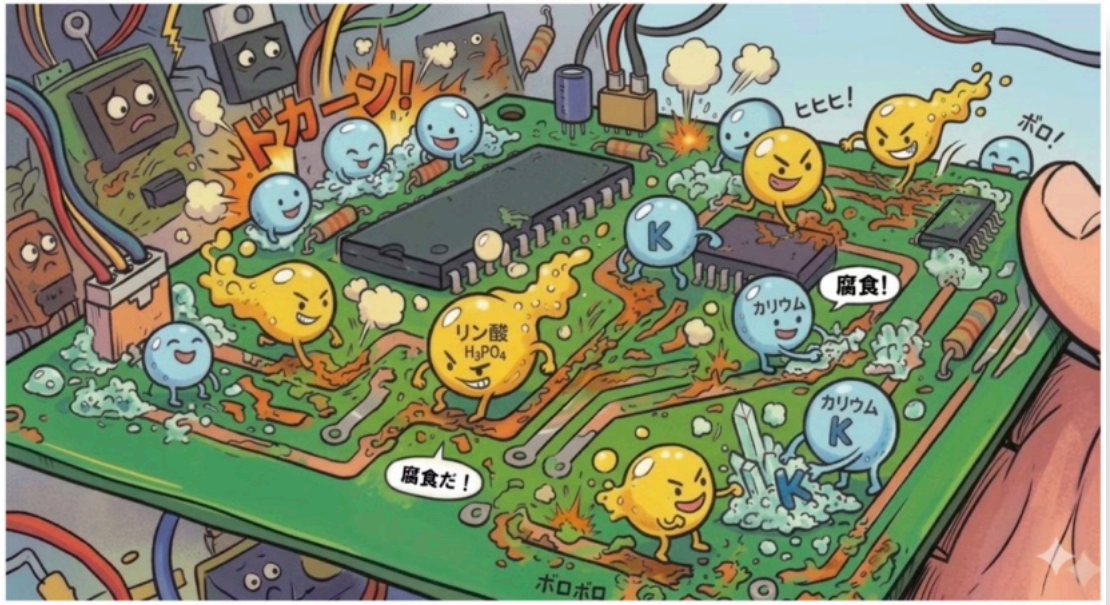
ステッカー内に封入されたマイクロカプセルが100℃以上のを感知すると、シール内の消火剤がガス化して噴出。火元を包み込み、酸素を遮断することで、炎が広がる前に「初期消火」を完了させます。

「火を消す」から「火を出さない」未来へ。この物理的な自動反応が、ヒューマンエラーを防ぎます。

なぜB to Bで選ばれるのか

設備ダメージ・ゼロ

粉末消火器とは異なり、無色・無臭・非導電性のガスを使用。
消火後の清掃が不要で、精密機器や電子回路を損傷させません。
復旧時間を最小限に抑えます。



リン酸・カリウムが基板を腐食するイメージ

管理コスト・ゼロ

スプリンクラーのような大掛かりな配管工事、専門業者による定期点検、電気系統の予備電源確保、そのすべてが不要。
維持費（ランニングコスト）を劇的に削減します。

FK-5-1-12の安全性と位置づけ

～PFOS規制との違いと環境配慮型消火剤としての役割～

1. 規制対象にならない理由

広義のPFASには分類されるが、大気中で数日で分解され、生物蓄積性なし。

地球温暖化係数（GWP）が1未満と極めて低く、有害な特性を持たない。

2. 代替品としての位置づけ

PFOSや従来のハロン・代替フロン（HFC）に代わる環境配慮型として普及。

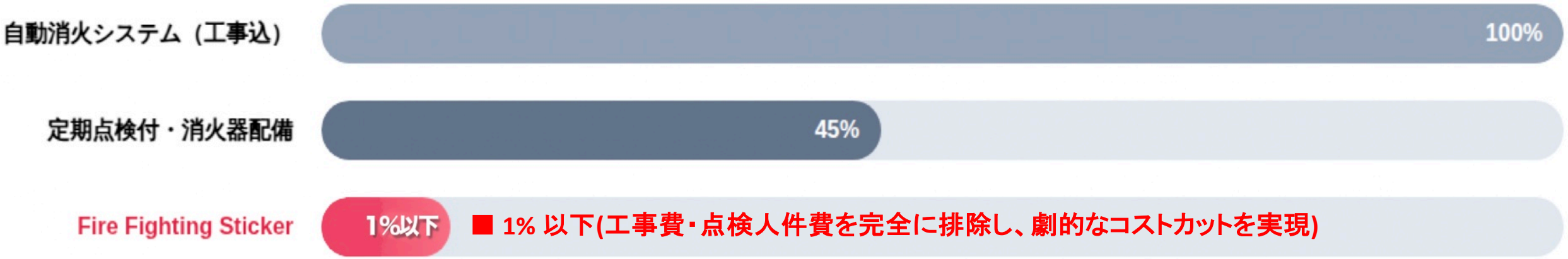
規制される側ではなく、規制をクリアするための「代替側」として扱われる。

6年間のトータルコスト（TCO）比較

圧倒的な投資対効果（TCO削減）

■ 自動消火システム（工事込）：100% (高額な初期工事・配管費用が発生)

■ 定期点検付・消火器配備：45% (定期点検人件費や配備コストがかかる)



※設置面積・箇所あたりの推定比較。工事費・点検人件費を排除することで、圧倒的な投資対効果を実現します。

導入推奨シーン：重要資産の確実な保護

サーバー内部・ラック

サーバーラック内、PDU周辺などピンポイント消火に最適。データ損失を防止

生産工場・倉庫

制御盤、分電盤、コンプレッサーの電装部など、無人環境下での夜間発火対策に

ビル管理・テナント

共用部の電気設備や、什器の裏など人目の届かないコンセントの安全対策に



サーバーラック内、PDU周辺のピンポイント消火に最適 。



制御盤、分電盤、コンプレッサーの電装部・倉庫などの火災予防 。



共用部の電気設備や、什器に隠れたコンセントの安全対策。

BCP（事業継続計画）への統合メリット

リスクの分散化

全体消火だけでなく「点（機器単位）」での消火により、被害範囲を最小限に抑制します。

ダウンタイム短縮

消火後の汚損がないため、清掃や乾燥を待たずに即座に復旧作業を開始できます。

企業信頼性の向上

先進的な安全対策の導入により、取引先や株主への安心感を醸成します。

環境配慮型経営

RoHS対応・無毒性の消火剤で、環境負荷を抑えながら安全を確保します。

導入実績・信頼性

導入セクター	具体的な活用・メリット	信頼性指標
大手精密機器メーカー	研究室の分電盤に一括導入。高額設備の焼損リスクを回避。	RoHS指令準拠
全国展開小売チェーン	店舗バックヤードの配電盤。人的リソースを割かずに全店カバー。	無毒性・非導電性
物流・倉庫センター	フォークリフト充電スペース。無人環境下での夜間発火対策。	耐用年数 6年以上

「火災リスク」を「低投資」でコントロールする。

次世代の安全基準へ。

詳細資料・デモンストレーションのお問い合わせ
https://www.saikyo-fire-fighting-sticker.com/